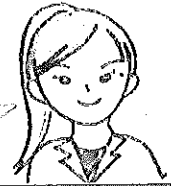


ほけんだより 5年生特別号

1月19日(水)に、5年生を対象に、保健指導を行いました。



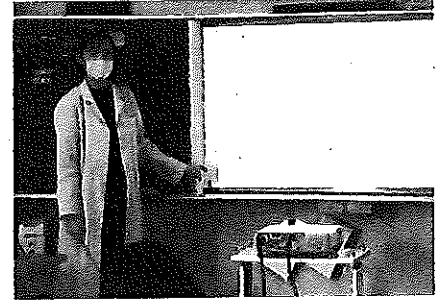
1月19日(水)に、5年生の各学級で、「思春期の体の変化」について保健指導を行いました。

大人に近づくと、男子はがっしりとした体つきになり、女子は胸やお尻が大きくなって丸みのある体つきになるなど、男女の体つきに違いが現れることや、ニキビができたり性毛が生えたりするなど、体に様々な変化が現れてくることを学びました。また、見た目だけでなく、体の働きにも変化が起き、女子は、初経を迎えて将来お母さんになるための準備が始まること、男子は、精子が盛んに作られるようになり、精通を迎えてお父さんになる準備が始まることを理解しました。

第4学年時にも、保健の授業で体の発育について学習をしている子どもたちですが、その時のことをしっかりと覚えている子は少なく、こうして繰り返し学習し、積み上げていくことが大切であると、改めて実感しました。

今回は「命の始まり」についての話もしました。子どもたちの一番の関心事は「精子と卵子はどうやってくっつくのか?」ということです。

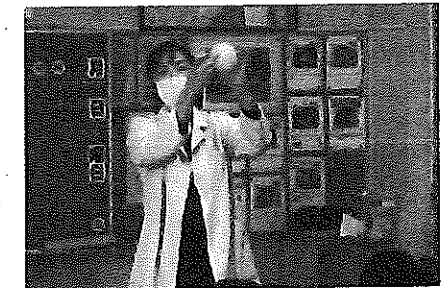
精子と卵子の出会いについては、模型を用いて説明をしました。初めて知ることに驚く子どもの姿もありましたが、「人間の精子はとても弱く繊細で、水や空気に触れると死んでしまう。その大切な精子を子宮の奥へ届けるためにはその方法しかないんだよ」という話をする、「なるほど!」と納得した様子で、静かに話を聞いていました。そして、命の始まりである針穴ほどの受精卵の大きさを知ったり、「精子くんたちのサバイバルレース」の話を聞いたりしたことで、一つの命ができることは奇跡的なことであり、自分が約3億分の1の確率で生まれたかけがえのない一人であることを知って感動する姿が印象的でした。健康で生まれたことに感謝し、かけがえのない命を大切にすることを約束しました。



【スライド教材を使って授業展開する様子】

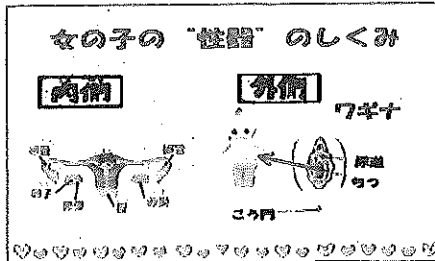
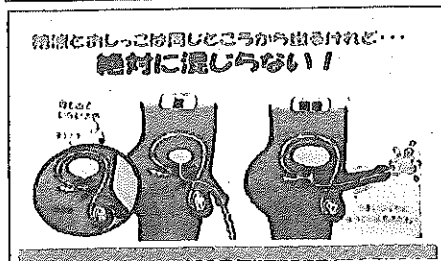
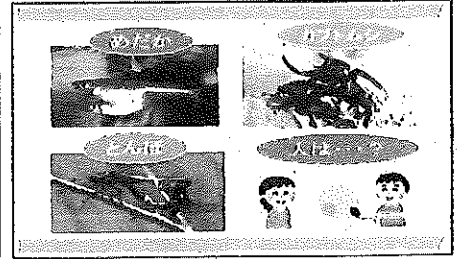
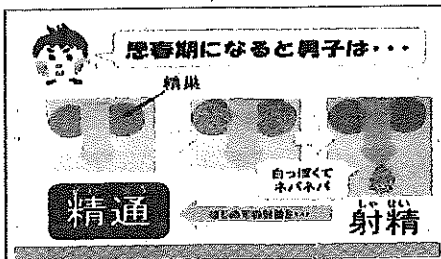


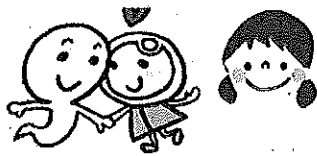
【子宮の位置と大きさを説明する様子】



【模型を使って受精について説明をする様子】

<授業で使用したスライド教材の一部>





アンケート結果と子どもたちの感想



※ アンケート対象：5年生58人（5人欠席）

思春期に起こる男子の体の変化について分かりましたか？

よく分かった……………40人
 少し分かった……………18人
 あまり分からなかった……0人
 まったく分からなかった…0人

思春期に起こる女子の変化について分かりましたか？

よく分かった……………46人
 少し分かった……………10人
 あまり分からなかった……2人
 まったく分からなかった…0人

命の始まり（精子と卵子の出会い）について分かりましたか？

よく分かった……………46人
 少し分かった……………11人
 あまり分からなかった……1人
 まったく分からなかった…0人

<思春期の体の変化・命の始まりについての感想の一部>

- ・ 体の変化の仕方は個人差があると言っていたのが印象に残った。体に変化しても、この話を聞いたので不安ではなくなったので良かった。
- ・ 生理が来るのが「遅い子」も「早い子」もいることを聞いて、気持ちが楽になった。
- ・ 性器に毛が生えることが恥ずかしいと思っていたけれど、みんなそうなると思って安心した。
- ・ 男子のことも女子のこともよく分かった。
- ・ 女子だけでなく、男子もいろいろと大変なんだなあとと思った。
- ・ 女子に思春期があることは知っていたけれど、男子にもあることが分かった。
- ・ 私は月経がもう始まっていて大変なのは知っていたけれど、男子のことは知らなかったし知ろうともしていなかったもので、良い機会だった。
- ・ 精子は1度に3億出るけれど、卵子は月に一つしか出ないということが分かった。
- ・ 精子は険しい道を通って卵子と結ばれるんだということが分かった。
- ・ 1人生まれるために、3億もの精子がそんなにも頑張っているとは思わなかった。
- ・ 顔が似ている双子と性別が違ったりあまり似ていなかったりする双子がいて、その理由が分かった。
- ・ 受精卵の大きさが黒い紙の穴の大きさということや、3億分の1の確率で受精卵になれることが印象的だった。
- ・ 人の精子がとても弱いということと、男性と女性の性器をくっつけて受精するということが心に残った。
- ・ 精子と卵子の出会いで、3億もの精子たちが卵子のために300kmも泳いでいくなんてすごいと思った。
- ・ 3億分の1の確率で、ぼくが1位になれて生まれたことが、すごくうれしい。
- ・ 3億の中のひとりだなんて、自分はすごいんだなと思った。
- ・ 自分たちの命はとても貴重で大切なものなのだと改めて思った。
- ・ いろいろな道具で説明してくれたのでとても分かりやすかった。
- ・ 知らないことをたくさん知ることができてうれしかった。

おうちの方へ

思春期の入口に立つ5年生の子どもたち…。すでに体に変化が現れ始めている子も、そうでない子も、もうすぐ自分たちに起きるであろう体の変化について、興味・関心をもって学習に臨むことができました。

授業後の感想を見ていると、思春期の体の変化に対して不安が和らいだ子、新しい発見に喜びを感じる子、異性への思いやりの気持ちが芽生えた子、命の尊さを感じた子、3億分の1のサバイバルの話を知って自信をもった子など様々な姿が見られました。今回学んだことを、少しでも覚えていてくれたらよいと思います。

この機会に、ご家庭でも、おうちの方々が思春期を迎えたときの話や、お子さんが生まれた時の気持ちやエピソードなどを話していただくと、体や命について学習したことがより深まると思います。

子どもが質問をしてきた時、それは親が我が子に性を語る最大のチャンスです！！そして、ポイントは、「あせらず・ごまかさず・あっさり・本当のことを」です！ぜひ、よろしく願いいたします。